

令和6年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立立間小学校

1 自己評価書

教育目標	すべてのことに感謝					
基本方針	1 個に応じたきめ細かな指導やICTの適切な活用を通して、確かな学力の定着と向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びへの授業改善を進める。 2 子供たちの思いを的確に把握し、活躍する場を設定したり、気持ちのよい挨拶・返事の徹底を図ったりすることを通して、思いやりや感謝の気持ちを大切に、活気に満ちた安全・安心な教育環境を整える。 3 教職員が互いに助け合える職場づくりを心掛け、ワークライフバランスを大切にしたい働き方改革を推進する。 4 家庭や地域との連携・協働を強化し、閉校に向け、地域とともにある学校づくりに努める。					
本年度重点目標	1 個に応じた指導やICTの適切・効果的な活用を通して、確かな学力の定着と向上を図る。 2 子供たちの思いを大切にしながら活躍する場を設定し、活気ある挨拶や返事のできる児童を育成する。 3 子供たちと関わる時間を確保できるよう、助け合い、相談し合える、温かな職場づくりに努める。 4 閉校に向け、地域と協働する学校づくりに努める。					
評価項目	評価の小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析により成果と課題を把握するとともに、「身に付けさせたい力」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成 ・具体的な対策の実施		後期のみ
	②	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	A B B	A
			ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート	A B	A
	③	家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B C B	B
	④	読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	C D C	C
⑤	ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	A C B	B	
(成果と課題) ○ 町探検や大乗寺の見学等、地域の方に話を聞いたり、実際に地域で体験したりする活動を通じた、地域の人とのつながりの強化 ○ デジタル教材や副教材を活用した反復学習や丁寧なテスト解答等を通じた、基礎基本の定着促進への取組 ○ 少人数であることを生かした、一人一人を大切にしたい見取り ○ 支援員の関わりによる、児童の学習理解の促進や反復学習を通じた、基礎基本の定着促進への取組 ○ 放課後補充学習による基礎・基本の定着 ● 個人差によって生じる非効率化の解消と、生徒指導、特別支援と教科指導とのすり合わせ ● EILSやeライブラリ等、デジタル教材の活用のさせ方と、学習意欲・目的の持たせ方 ● 相手と対話する力(他者の考えを受けて、自分の考えを再構築し、伝えること) ● 啓発だけに終わらない、児童自身の読書意欲や読書量向上に向けての取組						
(改善策等) ☆ 児童の学習意欲ややる気を高め、学びたいと思わせるような授業づくりと、よりよい授業構築のための研修機会の確保(講師の招聘等) ☆ 様々なテストや問題に触れる経験の蓄積と、EILS等を活用した個に応じた問題の与え方の工夫 ☆ 支援員との連携の工夫と、効果的な学習支援方法の共有 ☆ 放課後補充学習の一層の効果的な活用 ☆ 対話をより効果的に学習に取り入れるための教師のファシリテート力の向上に向けた研修の充実 ☆ 「本って楽しい!」と児童に思わせるような取組(教師による読み聞かせ、図書集会、読み聞かせボランティアによる全校読み聞かせ会等)と、家庭への読書活動のさらなる啓発 ☆ 読書に関する課題の与え方の工夫						
評価項目	評価の小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
生徒指導の充実	①	規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B A	B
	②	児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	A A A	A
			不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	A B A	A
	③	関係機関との連携	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども支援教室わかたけ等の積極的な活用を心掛けた。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B B C	B
④	自己肯定感等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート ・児童アンケート ・教師アンケート ・児童アンケート	A C B A	B	
(成果と課題) ○ アンケートによる実態把握と、教育相談を頻繁に行うことによる、児童との信頼関係の構築 ○ 児童の様子を観察していくための関わる時間の確保 ○ 児童への称賛(正直な行動、客観的な反省、「ありがとう」の言葉、等) ○ 児童同士の相互評価場面の意図的な設定 ● 児童同士の人間関係や言動の改善に向けた指導の継続 ● 自己有用感の低さ ● 他者のことを認め、よさを称賛できるような雰囲気づくり						
(改善策等) ☆ 対人関係をよりよくするためのソーシャルスキルトレーニングの実践 ☆ 気持ちのよい挨拶や返事、素早い行動の意識付けと指導の継続 ☆ 「ありがとう」の言葉を発せられるようにする習慣化 ☆ 児童への称賛の継続と、家庭との連携の強化						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス	時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指すために、教職員の働き方の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	B B	B
	②	働きやすい環境づくり	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。(枠を移動しました。)	・教師アンケート	A	
			休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	A	A
	③	他の教職員のサポート体制の充実	教職員同士が仕事を助け合ったり、スクールサポートスタッフ、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制が充実した。	・教師アンケート	A	A
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 通信簿の所見欄等の省略 ○ 課外活動の時間変更や休業日の活動制限、下校時刻の繰り上げ ● 人員不足の解消 ● 一人一人の業務負担の多さと偏り ● 退勤時刻の遅さ <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 互いの業務をサポートし合えるような声掛け ☆ 削減できる業務の洗い出しと、改善案の提案 						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。	・教師アンケート	A	B
			学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議によって地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	B B A	
	②	情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A	
	③	来校・相談体制	来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A C A	B
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 閉校に向け、人文字作成や授業参観等、地域の人も参加できるような取組の実施 ○ 学校運営協議会での熟議による、多様な意見の吸い上げ ○ 保護者からの相談等への丁寧な対応 ● 閉校を見据えた、カリキュラムや行事計画等の設定や修正の在り方 ● 学習発表会等でしっかりと学びの様子を発信できるような、地域学習や地域の方々との交流等の一層の推進(総合、生活、特活、等) ● 保護者や地域との連携の一層の推進と、教育活動に意見等を取り入れていく際の線引き <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 地域学習や学習発表会、閉校行事の計画等の速やかな提案と、検討・実践・修正 						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満